



生命保険事業を通じて

人と社会に貢献する

企業グループを目指して

株式会社T&Dホールディングス 代表取締役社長 喜田 哲弘



T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生命保険会社3社を中心とする子会社等16社と関連会社2社で構成する企業グループです。

当社グループは、グループ経営の基本となる経営理念として、「Try & Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。」を掲げています。この経営理念に基づき、グループ各社は、社会の変化と向きあい、社会が必要とする商品・サービスの提供を通じて価値を創造し、グループの持続的な成長に努めてきました。

このような中で、当社グループでは、2016年4月から、3ヶ年の新たな中期経営計画を始動いたしました。新たな中期経営計画では、向こう3年を「今後10年を見据えたファーストステージとして"成長領域を拡大する3年"」と位置づけています。この先10年を見通せば、少子高齢化の進展により若年層の人口は減少していく反面、シニア層は増加していきます。人口構成の変化により、年金・医療・介護分野など将来に備える生活保障ニーズは今後ますます高まっていくと想定され、これに伴い当社グループが生命保険事業を通じて社会のお役に立てるフィールドも拡大していくと考えています。このような環境認識のもと、新たな中期経営計画では、「生命保険事業を通じて社会的課題の解決に貢献することにより、"すべてのステークホルダーの満足度"の増大を追求していく」ことを目指す姿といたしました。

この目指す姿の実現に向け、次の3点をCSRの重点分野と位置づけています。

1点目は「より良い商品・サービスの提供」です。当社グループ

のコアビジネスである生命保険事業においてグループ各社が 独自性、専門性を最大限発揮することで、お客さまが必要とする 商品を、お客さまが必要とするサービスとともにお届けしてまい ります。

2点目は「人権の尊重」です。働き方の変革、女性活躍推進を 含むダイバーシティへの取組み、ワーク・ライフ・バランスへの 取組みを推進してまいります。

3点目は「地球環境の保護」です。消費電力や紙使用量の削減、 グリーン購入比率の向上、森林保全活動などを通じた省資源・ 温暖化防止への取組みを進めてまいります。

これらの重点分野以外にも、ジュニアスポーツ・障がい者スポーツの支援・推進、地域清掃活動やグループ共同献血の実施、発展途上国の子どもたちへの教育支援など、グループ各社が協力してさまざまな社会貢献に取り組んでまいります。

また、このような取組みと並び、2015年7月、国連が提唱する 持続可能な成長を実現するための国連と企業の協力の枠組みで ある「国連グローバル・コンパクト」(以下、「UNGC」)にグループと して参加いたしました。UNGCは「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗 防止」の4分野にわたる10の原則からなり、これらの原則にコミット していくことで、社会の一員としての役割を果たしてまいります。

このように、T&D保険グループでは、グループをあげてさまざまな取組みを推進しておりますが、これらを実践していくのはグループの役職員一人ひとりです。役職員一人ひとりが、事業を通じて社会的課題解決のお役に立つという使命感と誇りを持ち続けることが何より大切だと考えております。この先も、このような企業文化をより一層醸成し、人と社会に貢献できる企業グループの実現を目指して努力を重ねてまいります。

私たちは、社会的課題への取組みを通じ、 価値を創造し、人と社会に貢献します。

グループ経営理念

Try & Discover(挑戦と発見)による 価値の創造を通じて、 人と社会に貢献するグループを目指します。

グループCSR憲章

【前文】

T&D保険グループは、経営理念に基づき、 社会とともに持続的成長を遂げ、生命保険業等の 公共的使命と企業の社会的責任を果たします。

私たちの重点分野(2016)



より良い商品・ サービスの提供



人権の尊重



地球環境の保護

幅広いステークホルダーにとって重要な分野、私たちの企業理念と成長にとって 重要な分野から、3つの分野を重点分野として選定し活動に取り組んでいます。

T&D T&D保険グループ

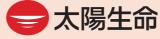
T&Dホールディングス

子会社、関係会社等18社で構成する T&D保険グループの要となる持株会社です。

中小企業マーケット

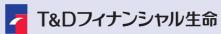
D/IDO 大同生命

中小企業のお客さまにフォーカスした独自の 営業チャネルを構築しています。 中小企業関連団体や税理士団体等と提携し、 中小企業とそこで働くすべての方をさまざまなリスクから お守りする保険商品とサービスを提供しています。 中小企業市場におけるリーディング・カンパニーとして 最高の安心と最大の満足を 中小企業の皆さまにお届けします。 家庭マーケット



女性・中高齢層を中心とする家庭市場にフォーカスし、 死亡・医療・介護保障を中心とした 総合生活保障商品を提供しています。 お客さまのニーズを身近に理解する女性営業職員が 直接ご家庭を訪問し、最適な保障の提案を 行っています。時代の変化を先取りした商品と サービスを創造し、最優の生活保障を ご家庭にお届けします。 価値の創造を通じて人と社会に貢献するグループを目指し グループ各社が独自のマーケットで 特色ある商品とサービスを提供しています。

乗合代理店マーケット



銀行などの金融機関や来店型の保険ショップを通じて、 お客さまのニーズにお応えする 特色ある保険商品を提供しています。 シニアのお客さまに、ゆとりあるセカンドライフのための 生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える

シニアのお客さまに、ゆとりあるセカンドライブのための 生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える 資産形成商品を、就労・子育て世代のお客さまに、 ご加入いただきやすい価格の保障性商品を お届けしています。 資産運用マーケット

T&Dアセットマネジメント

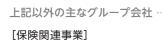
投資信託事業と投資顧問事業を 二本の柱とする資産運用会社です。 お客さまのニーズに応える多彩な商品を、 個人投資家と機関投資家の皆さまに 提供しています。

ペット保険マーケット



シペット&ファミリー 少額短期保険株式会社

拡大が見込まれるペット保険市場で成長中の保険会社です。ペットのケガや病気にかかった費用を幅広く補償し、健康を応援します。ペットショップや、インターネット窓口を通じて、商品を提供しています。



T&Dコンファーム株式会社 東陽保険代行株式会社 株式会社大同マネジメントサービス

[その他の資産運用関連事業]

T&Dリース株式会社 太陽信用保証株式会社 エー・アイ・キャピタル株式会社

[総務関連事業]

T&Dカスタマーサービス株式会社

[事務代行·計算関連事業等]

T&D情報システム株式会社 日本システム収納株式会社 株式会社全国ビジネスセンター





太陽生命保険株式会社

「ご家庭に最もやさしい生命保険会社」を 目指して

時代の変化を先取りした新商品

高齢化の進展に伴い、認知症患者の増加や認知症に伴う家族の介護離職などの問題が身近 なものとなってきました。また、シニアの女性に多い骨粗しょう症による骨折や、加齢に伴って 増加する生活習慣病なども、介護につながるリスクが高いことがわかっています。

こうした状況を踏まえ、生命保険業界で初めて、健康に不安のあるシニアのお客さまでも簡単な 告知で加入できる「ひまわり認知症治療保険」を開発しました。"シニアのお客さまにご安心いただき たい""豊かで前向きな老後を送ってほしい"との想いを込めて、認知症、骨折、7大生活習慣病に よる入院・手術など、シニアのお客さまが不安に感じられている保障を重点的にカバーしています。



ご家庭へ安心をお届けするために

太陽生命では、保険金・給付金のお支払いにつきまして、支社・お客様サービスセンターで ご請求を受け付け、担当営業職員等が書類を持参し、書類記入のサポートやお手続きに 関するご案内を行っています。 加えて、シニアのお客さまが安心・便利に給付金等の請求手続きができるよう、専門知識

のある内務員が直接お客さまやご家族のもとを訪問し、お手続きをサポートする「お支払い 手続き訪問サービス(サービス名称:かけつけ隊サービス)」を2016年4月より開始 しました。

また同時に、シニアのお客さまのご請求意思を確認したうえで、内務員が給付金等の 請求書類を代筆する取扱いや、給付金等の請求に必要な「診断書」を代行して取得する サービスも開始しました。



住宅型有料老人ホーム施設の竣工

シニアの皆さまのお役に立てるよう、さまざま な取組みを進めております。

寮(横浜市)を周辺地域の年齢別人口構成の変 化にあわせ、シニアの方に安心・快適にご利用 いただける老人ホームに建て替えました。

今後一層進展する高齢化社会の課題に応え、 スを実施している株式会社ベネッセスタイル ケアが行います。365日24時間、看護職員が 配置されていますので、「自立」から「要介護5」 その一つとして、長年所有してきた女子学生までの方が安心してご入居いただけます。

これからも多くの皆さまのお役に立 てるよう、当社資産を有効に活用し、ベ ネッセスタイルケアとともに高齢者向 当施設の運営は、全国で入居型介護サービ け住居施設を拡充していく予定です。



DAIDO 大同生命保険株式会社

[最高の安心]と[最大の満足]をお届けする 生命保険会社を目指して

介護にかかる負担をトータルサポート

高齢化の進展などに伴い、介護を必要とする方は年々増加して おり、将来のご自身・ご家族の介護に対して不安を感じている方が 多くいらっしゃいます。

このような社会の状況を踏まえ、経営者・個人事業主の方が 要介護状態になった場合の収入減少にそなえる「収入リリーフ」 および介護費用の負担にそなえる「介護リリーフ」を2015年10月 に発売しました。

あわせて、ケアマネジャーなど介護の専門職が、公的介護保険の利用方法や、ご希望 に沿った介護施設の紹介、施設見学の手配など、介護に関する相談を無料でお受け するサービス「介護コンシェル」の提供を開始しました。

「収入リリーフ」「介護リリーフ」と「介護コンシェル」の一体的なご提供により、お客 さまの介護にかかる「経済的な負担」だけでなく、「肉体的・精神的な負担」の解決 までをトータルにサポートしています。





わかりやすく利便性の高いサービスの提供

高齢化の進展を踏まえ、お客さまと関わるすべてのプロセスにおいて「わかりやすく利便性の高い サービス」をお届けする取組み「ベストシニアサービス」を展開し、高齢のお客さまに対して「理解の促進」 「意思の確認」「生活環境への配慮」に努めています。この取組みの一環として、わかりやすいご案内 書類や手続書類等のご提供に努め、「新契約申込手続画面」「年金支払請求書・ご請求のしおり」「ご契約 内容のお知らせ」「設計書[契約概要]」が、「伝わるデザイン」(UCDA認証)を取得しました。



営業企画部 営業企画課係長 小山恵理

中小企業の事業承継・事業拡大に向けて

経営課題と認識されています。大同生命では、サポートまで一貫してお客さまを支援しています。 事業承継・事業拡大などに向けたM&Aの活用を

半数以上の中小企業において後継者が未定で 専門家がサポートする「M&A支援サービス」を あるなど、多くの中小企業経営者が「事業承継」を 導入し、ご相談受付から実際の契約手続き等の

▼ T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

お客さまから「厚い信頼」を得られる 生命保険会社を目指して

お客さま目線のユニークな商品

T&Dフィナンシャル生命では、お客さまが求める、他社とは差別化したユニークな商品を開発し、 代理店を通じてタイムリーに提供しています。

2015年度には、死亡保障と老後生活資金の準備を可能とした「生涯プレミアムシリーズ」の保険金の一部を定期的にお受け取りいただける「定期支払特約」、死亡保障と幅広い資産形成ニーズに応える「家族をつなぐ終身保険」、3大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)による所定の状態に備え一定期間の生活費をカバーする生前給付保障「働くあなたにやさしい保険」を開発しました。

2016年8月には、死亡・高度障害保障として毎月お支払する収入保障保険「家計にやさしい収入保障」、「働くあなたにやさしい保険」を改定し、上皮内がんに対する保障の充実等を図りました。

THE STATE OF THE PROPERTY OF T

シニア層のお客さまサービス向上の取組み



お客様サービス本部 支払サービス課係 高木圭子

T&Dフィナンシャル生命では、シニア層のお客さまへの取組みを強化しています。例えば、各種お手続きが長期化すること等を防止し、円滑にお手続きいただけるよう、ご家族等のご連絡先を事前にご登録いただける「第二連絡先」の登録推奨を開始しました。また、ご契約時の各種書類を改訂したほか、ご請求のお手続書類のカラー化やレイアウトの改訂を実施しました。さらに、保険金お支払手続き時の必要書類の一部省略や署名代行の取扱い範囲の拡大を行うなど、お客さま満足度の向上に努めています。

加えて、コールセンターの電話応対者(コミュニケータ)に対する研修においても「シニア層のお客さまサービス向上」をテーマに対応スキルの向上を図りました。

お客さまサービスのさらなる向上を目指して

お客さま宛に発送するお手続書類等やコールセンターの電話 応対者 (コミュニケータ) の電話応対について、お客さまの意見 を収集・分析し、より顧客満足度を向上させるため、毎年「顧客 満足度アンケート」を実施しています。

2015年度のアンケートでは、お手続書類への記入方法や 業務運営を一層進めてまいります。 コミュニケータの電話応対について、9割以上のお客さまから 良い評価を得ることができました。

一方、「改姓・改印・訂正変更」の手続きについては、「複雑」 といった声を多くいただき、認印等でも簡便にお手続きいただける対応を開始しました。

今後ともお客さまの声を踏まえ、お客さまの視点に立った 業務運営を一層進めてまいります。

T&Dアセットマネジメント株式会社

お客さまにご満足いただける 「価値を創造すること」を 目指して

持続可能な社会形成に貢献する商品

T&Dアセットマネジメントは、ESG(環境、社会、ガバナンス) リサーチに基づいた銘柄選択によりESGに優れた企業に選別 投資することで、中長期的に市場平均を上回る投資リターン の獲得を目指すと同時に、環境負荷の低減や健全な社会の 実現に資する企業への投資を通じて持続可能な社会形成に 貢献する「日本株式ESGリサーチファンド」を設定・運用して います。

責任ある機関投資家として

T&Dアセットマネジメントでは、本来の事業領域である資産 運用において広く社会に貢献することこそがCSRの本質と 考え、積極的に意見交換や情報発信を行っています。環境省が 進める環境情報開示基盤整備事業のシステムの実証実験 への参加や有識者ワークショップ委員としての活動を行って おります。また、投資家に役立つ情報発信を目指し、ESG投資 をテーマとした投資セミナーなど、継続して投資セミナーを 開催しています。



運用部門担当執行役員 山中清



家族であるペットの「健康」と 飼い主さまの「安心」の 提供を目指して

大切な家族のために

少子高齢化の進展や独身世帯の増加といった社会的課題を背景として、ペットの飼育頭数は安定的に推移しています。また、ペットを家族の一員として認識する飼い主の意識の変化により、ペット医療およびその費用への関心がますます高まっています。こうした状況を背景に、ペット医療費用へのニーズに対応し、飼い主さまとペットが安心して治療を受けることができるよう、ペットが病気やケガにより動物病院で治療を受けた費用の一定割合を補償する商品「げんきナンバーわん」「げんきナンバーわん」「げんきナンバーわんスリム」をご提供しています。





お手続きを便利に

ペット&ファミリー少額短期保険では、2015年11月よりペットショップ代理店でのタブレットによる新契約加入手続きを開始しています。従来の書類による手続きでは申込書等の不備が多く発生していましたが、タブレットの導入により契約成立までの期間が短縮され、お客さまの負担軽減につながっています。



お客様サービス本部 契約管理部 喜井麻佐

グループ全員が成長できる働き方を目指して!

T&D保険グループは、「多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮できる企業風土づくり」を推進しています。 各社で人事・処遇制度の改定や両立支援制度の導入、女性活躍推進の行動計画を策定してきました。

ワーク・ライフ・バランス推進と女性活躍 推進を2つの柱とした取組みの成果は、 いろいろな形で実を結び始めています。

.____

厚生労働省

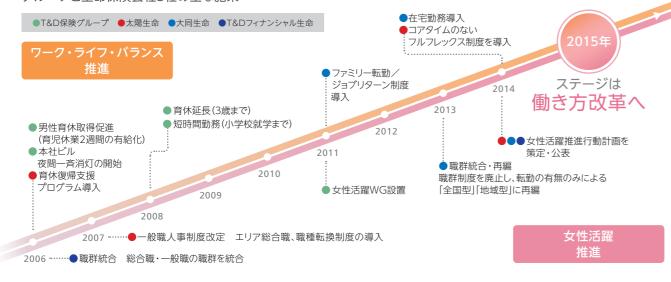
「イクメン企業アワード2015」

グランプリ受賞!(大同生命) 男性の育児と仕事の両立を 積極的に促進し、業務改善 を図る企業として表彰され





グループと生命保険会社3社の主な施策



女性活躍推進の行動計画と女性管理職登用の目標を開示。女性管理職比率は着実に上がっています。



一人ひとりの働きがいと成長のために

T&D T&D保険グループ

活躍のフィールドを拡げる グループ人材交流

新しい業務への挑戦が人を育てます。 グループの他社での業務経験が新たな 気づきを促し、成長を後押ししています。

●交流者推移

		2013	2014	2015
	交流者数	17名	28名	39名
	うち男性	3名	8名	18名
	うち女性	14名	20名	21名

二太陽生命

業界最高水準の 介護休業・介護休暇を導入

家族をサポートする従業員*を会社が もっとサポートするために、制度を改定 しました。

●主な改定内容

取得期間の拡大 介護休業:1年間→3年間 介護休暇:年5日(2人以上年10日)→30日

(2016年4月)

※内務員(パートナー職を除く)

D/IDO 大同生命

より柔軟な働き方に向けた テレワークの活用

2014年に導入した在宅勤務制度はこれまでに200名以上が利用しています。育児・介護の負担軽減をはじめ、業務効率アップのために活用されています。

取組みが評価され、総 務省が新設した「テレ ワーク先駆者百選」に 認定されました。(2016年4月)



女性活躍から「ダイバーシティ」へ 「働き方改革」で

ワーク・ライフ・バランスを実現する。

仕事と育児を両立させるための制度の導入、総労働時間の縮減、女性の キャリアアップ支援。不断の取組みの中で見えてきた次に目指すものが 「グループの全員が成長できる働き方」です。

女性活躍が進んできた今だからこそ、性別や年齢、役職等にかかわらず 一人ひとりの働きがいを追求するダイバーシティと働き方改革をグループ 一丸となって推進していきます。

職場の全員で働き方を考える意見交換会

― 「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスを考える日」を実施!

働き方改革の第一歩は自分の働きがいとは何か考えること。どうしたらもっと働きやすいか、誰の協力が必要なのか。また、どうすれば周囲の役に立てるのか。職場ごとに話し合い、仕事と生活の質を高めるための目標を設定しました。



キーワードは「成長」 — 社長×生保3社職員座談会



働き方を考える意見交換会の実施にさきがけて、ホールディン グス社長とグループ各社の職員による座談会を開催しました。

社長からは「生命保険会社である私たちグループには、サステナビリティ(持続可能性)を伴う成長と、健全な利益の追求が欠かせない。そのグループの成長を支えるのは従業員の職場での真摯な取組み。そしてその職場の環境を整えることが会社の大切な役目」との思いが語られました。

公平で無理のない制度利用、キャリアアップと子育ての両立、 労働時間をいかに削減するか、介護との両立。さまざまなテーマ で議論が尽きない中、最後に意見が一致しました。「夢を描き その実現のために、ともに成長しよう!」

環境保護の取組み
社会とともに

私たちが暮らす社会は、地球環境という基盤のうえに存在しています。

T&D保険グループは、未来の社会を生きる子どもたちに健康で豊かな社会を引き継ぐため、

その基盤である地球環境の保護を活動の重点分野に定め、さまざまな取組みを進めています。

グループ目標を定めて取り組む環境負荷軽減の活動

グループとしての環境保護関連の目標を設定し、毎日の事業活動の中でその達成に向けた取組みを進めています。目標は、「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の3つです。このうち事務用紙使用量削減目標は、2009年度からの5年目標を達成し、2014年度からの新しい5年目標に取り組んでいます。

対象:T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命、T&Dアセットマネジメントの本社部門合計

200 184 事務用紙使用量(単位:t) 160 160 160 160 170 171 172 173 174 175

文書削減の取組み

2015年の本社移転にあわせ、グループ各社とともに業務の効率化と文書削減に取り組みました。文書保管状況の調査を進め、文書を管理する規程も見直して、さまざまな記録をこれまでの「紙保管」から「電子データでの保管」に

変更。不要となった書類の廃棄 も進め、保管書類の70%を削減 しました。

また、保管書類の電子化により、 自席や会議室など場所に制限されない情報の取得、共有が容易 となり業務効率も向上しました。



株式会社T&Dホールディングス 総務部課長 井田英次

会議のペーパーレス化の取組み

ペーパーレス会議実現のため会議室へのディスプレイ設置と タブレット端末の配備を進め、取締役会、経営会議等の重要会 議を含む会議のペーパーレス化の取組みを拡大。さらに、普段 のミーティングや打ち合わせもペーパーレスで行うため、モバ イルPCの配付と無線LANの配備、ミーティングテーブルへの ディスプレイ設置などを進め、業務の効率化とともに紙使用量

の大幅な削減 に取り組んでい



森林保全活動

森林資源を守り、また、そこで生きる多様な生命を守るため、太陽生命は栃木県那須塩原市と滋賀県高島市に「太陽生命の森林」を設置し育林活動を進めています。滋賀県の「太陽生命くつきの森林」で進めている「いきもの集まれ大作戦!」は、むかし田んぼだった湿地帯にビオトープを整備する活動です。活動にはグループ会社の職員や家族の皆さんも参加し、水路に流れ込んだ土砂を取り除いてきれいな水の流れを確保し、周囲を歩けるように整備しています。サワガニやカエル、イモリなどが次々に顔を出し、参加した子どもたちは大よろこびです。いろいろな命でにぎわうビオトープを目指し、継続して整備を進めていきます。

※「ビオトープ」とは、いろいろな生き物がお互いに関係をもって暮らしていける空間のことを言います。



活動の様子(2015年6月)



2015年度活動報告

全国一斉クリーンキャンペーン

太陽生命では1982年から、地域社会への社会貢献活動として、本社周辺の清掃活動を行ってきました。2004年からは「全国一斉クリーンキャンペーン」として、全国の支社でも周辺地域の清掃活動を実施。本社のある東京汐留*地域の清掃活動には、T&D保険グループ各社の役職員やとその家族の皆さんも協力し、2015年度は全国で約8,600名が地域の清掃活動に参加しました。

寄付による大学でのオープン講座

大同生命は、2002年の創業100周年を機に、毎年、「寄付による大学でのオープン 講座」を開催しています。本講座は、中小企業経営者・後継者や地域の皆さまに 経営・ビジネス等に関する知識・スキルの習得の場をご提供するもので、過去14 年間の累計受講者数は12,000人以上に達しています。

2015年度は、広岡浅子(大同生命創業者の一人である明治の実業家)が創設に関わった日本女子大学をはじめ、7大学で開催しました。

日本ダウン症協会への支援

太陽生命は公益財団法人日本ダウン症協会と交流し、2006年よりさまざまな支援活動を行っています。2015年は、太陽生命が2006年から整備活動を行ってきた「太陽生命の森林」に日本ダウン症協会栃木支部の皆さまをお招きして『森林教室』を開催し、新緑に包まれた森林の1日を過ごしていただきました。

障がい者スポーツへの支援

大同生命は、1992年の「第1回全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」より、20年以上にわたり全国障害者スポーツ大会に特別協賛しています。2015年度は、「紀の国わかやま大会」に大同生命の役職員や提携団体の方をはじめ、太陽生命の役職員など、約600名がボランティアとして参加しました。また、2015年1月からは公益財団法人日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツのより一層の普及・発展に向けた取組みを行っています。

障がい者一日外出支援ボランティア

大同生命は、ボランティア休暇制度を利用して日ごろ外出機会の少ない障がい者の方々の外出を支援する「障がい者一日外出支援ボランティア活動」を1994年から実施しています。2015年度は、障がい者の方々45名、大同生命およびその子会社等の職員によるボランティア33名など、総勢107名があべのキューズモールと天王寺動物園を訪れました。

東日本大震災復興支援 石巻マルシェ(石巻物産展) in 汐留

太陽生命は、石巻の特産品を通じて本格的な復興を応援するため、「石巻元気復興センター」の皆さんをお迎えし、汐留地区の町内会と共同で「石巻マルシェ in 汐留」を開催しました。当日は、T&D保険グループ各社のほか、近隣企業や町内などからたくさんの方にお越しいただきました。

※2015年12月に東京日本橋に移転しました。











社会性・公共性の高い生命保険業を事業の中心とするT&D保険グループにとって、

機関投資家としての社会的責任を果たし、投融資活動を通じて

持続可能な社会の実現に貢献することは、最も基本的な責務のひとつです。

機関投資家としての取組み

太陽生命の取組み

※「風力および太陽光発電ファンド」への出資

大規模な風力発電や太陽光発電事業を投資対象とするファンドを 通して再生可能エネルギー事業に投資しています。

*「グリーンボンド」への投資

再生可能エネルギー事業等への資金供給を目的とする 国際金融機関等が発行する債券に投資しています。

* 環境・シニア社会に配慮した不動産投資

環境負荷とシニアにやさしい不動産開発に取り組んでいます。

* 持続可能な社会の実現に貢献できる投資

中南米・カリブ海地域での教育・若年層支援・雇用支援に 貢献するEYEボンドに投資しています。

T&Dアセットマネジメントの取組み

* ESG調査情報を取り入れた投資先評価

ESG評価を投資判断に活用しています。

* グローバルな信用格付機関との協働エンゲージメント

PRI(下記)と格付機関の「対話」に委員会メンバーとして参加。 ESG情報の有用性が認められました。

大同生命の取組み

* 再生可能エネルギー分野等のインフラ事業への投融資

環境保護に 貢献できる発雷事業や 公共性の高いインフラファンドに投融資しています。

* 中小企業の経営支援を行うファンドへの投資

日本経済を支える中小企業の成長や 発展を支援するファンドに投資しています。

* 保有ビルにおける地球環境・地域社会への貢献

高効率省エネ機器の導入やビルへの アトリウム設置などを実施しています。

グループ協働の取組み

* T&D日本株式ESGリサーチファンドへの投資

(太陽生命・大同生命が出資、T&Dアセットマネジメントが運用) ESGに優れた企業に選別投資することで、 持続可能な社会形成に貢献します。

* 日本成長戦略ファンドへの投資

(太陽牛命・大同牛命の取組み) 国内の中堅・中小企業の新事業展開促進や事業再生等を 支援するファンドに投資しています。

イニシアティブへの参加

Signatory of:



PRI(責任投資原則)

PRI(責任投資原則)は、2005年に当時の国連事務総長 コフィー・アナン氏が世界の金融機関・機関投資家に 提唱したESG(環境・社会・企業統治)を考慮した投資 行動を促す行動規範です。T&D保険グループからは、 太陽生命が2007年に日本の生命保険会社として初め て署名し、同原則を踏まえた資産運用体制の整備と資 産運用を行っています。また2012年にはT&Dアセット マネジメントが署名し、企業評価にESGの要素を取り入 れることを通じ、中長期的な運用パフォーマンスの向上 を目指す取組みを進めています。



WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクトへの参加

国連グローバル・コンパクトは、企業が社会の良き一員 として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的 な枠組みづくりに参加する自発的な取組みです。国連 グローバル・コンパクトが提唱する、「人権」「労働」「環境」 「腐敗防止」に関する10原則に替同し、T&Dホールディ ングスがグループを代表して署名し、参加しています。



21世紀金融行動原則への参加

21世紀金融行動原則は、持続可能な社会の形成の ために責任と役割を果たしたいと考える金融機関の 行動指針です。T&Dホールディングスとその直接子会 社全5社は、その趣旨に賛同し、それぞれが署名会社 となり、持続可能な社会の実現に向けた活動に取り 組んでいます。

T&D保険グループでは、取締役会の下部機関としてT&Dホールディングスの社長を委員長、グループ各社の CSR担当役員等を委員とする「グループCSR委員会」を設置し、グループ一体となったCSR活動を推進しています。 「グループCSR委員会」は、グループCSR活動推進の要となり、CSR活動の基本方針と重点分野を定め、 年間計画を策定し、その実施状況を定期的に確認しています。

2015年度 グループCSR活動状況報告 (活動の一部です)

Plan

2015年度の結果・実績

Check · Action 2016年度の活動予定

● より良い商品・サービスの提供

(生命保険会社3社)

- ・最優の生活保障をご家庭にお届けする。
- ・中小企業の多様化するニーズに幅広くお応えする。
- ・金融機関等乗合代理店チャネルを通じ差別化 した商品をお届けする。
- ·認知症治療保険を発売。
- ・介護保障商品(収入リリーフ・介護リリーフ)を発売。
- ・特定疾病収入保障保険(働くあなたにやさしい保険)を
 - ・お支払い手続き訪問サービス「かけつけ隊」を開始。
- ・変化するお客さまのニーズにお応えす
- る商品の開発と提供。 ・高齢のお客さまの利便性や満足度向上 に向けた取組みのさらなる推進。

人権の尊重

【人材育成の取組み】

役職員のグループ経営への理解・浸透を促進 するとともに、より実効性の高い各社間交流を

【女性活躍推進】 各社行動計画に基づき グループのさらなる 女性活躍を推進。

【働き方改革の推進】 グループの企業価値 向上に資する 働き方改革を推進。



- ・グループ会社4社間での人材交流(年間14部門、39名)
- ・「障がいのある方と共に働くということ」をテーマにグルー プ役員・部長セミナーを実施(受講者約230名)。
- ・女性活躍の行動計画策定・公表
- ・グループ統一次世代法行動計画策定。生保3社が特例 認定(プラチナくるみん)取得。
- ・「女性職員と直属上司のペア研修」を継続実施。
- 「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスを考える日」を 実施。グループ各社・各部門で働き方改革について意見 交換を実施。
- ・在宅勤務制度の対象業務拡大。
- ・総労働時間縮減に向けた取組み実施(時短・スマート ワークミーティング等)

始業時間前、昼休みの消灯、OA機器の電源オフ等の

ほか、早帰り日の設定、クールビズ・ウォームビズ、ライト

ダウンキャンペーン実施など、さまざまな取組みを実施。

ペーパーレス会議の推進、保管文書の削減、2IN1印刷・

- ・グループ間交流の拡充によるグループ シナジーの発揮とグループを担う人材 の育成。 ・グループ役職員全員が成長できる
- 働き方改革の推進。 グループ役職員の
- 健康増准施策を実施



●地球環境の保護

電力使用量削減

目標期間:2013~2017年度(基準:2009年度) 対象範囲:ホールディングス、中核会社が保有 または賃借して使用するビル

目標:床面積当たり電力使用量10%以上削減

事務用紙使用量削減 目標期間:2014~2018年度 基準:2009~2013年度使用量の平均 対象範囲:ホールディングス、中核会社の本社 使用分

目標:基準比9%削減

グリーン購入比率 目標:文具・事務用品のグリーン購入比率 80%以 ト 対象範囲:ホールディングス、中核会社

両面印刷の利用、コピー枚数の管理徹底等により、使用 量削減を推進。

2015年度までの実績は基準年比 81.2%と順調に進捗中。 左記の取組みを継続し、一層の電力使用

量削減を推進。

2015年度までの実績は基準値比85% と順調に進捗中。 左記の施策を通じた使用量削減の取組

2015年度実績はグリーン購入比率 95.9%と、目標達成を継続中。環境対応 商品の優先購入の取組みを継続。

コミュニケーション

- ・役職員のCSR意識向上。
- ・ステークホルダーへのCSR情報発信。
- ・グループCSR役員・部長セミナーを開催。

グループ共通のグリーン購入基準を定め、

環境にやさしい商品の優先購入を推進。

- ・グループCSRレポート発行。投資家等を主な対象とする 「CSRレポート2015」と、お客さま・一般の方を対象と する「CSRレポート2015ダイジェスト編」を作成。環境 データに第三者保証を取得。
- ・ホームページのCSRコーナーにCSRライブラリを追加。
- ・役員部長層、課長層に適したテーマで 複数回のセミナーを開催。
- ・読者の関心・ニーズに応えるCSRレポー トを作成、発行。

●地域社会への貢献

- ・クリーンキャンペーン (地域清掃活動)。
- ・グループ共同献血。



- ・太陽生命「全国一斉クリーンキャンペーン」および、東京 芝地区クリーンキャンペーンにグループ各社が参加。
- ・各社本社部門(東京)が共同で年2回の献血を実施。 (2015年度の献血来場者数 延べ382人)
- ・継続してクリーンキャンペーンを実施。
- ・継続して年2回の献血を実施。

機関投資家としての存在感

高崎経済大学 経済学部 教授 水□ 剛

1984年筑波大学第三学群社会工学類卒業。ニチメン、英和監査法人などを経て、1997年高崎経済大学経済学部講師、2008年より現職。主な研究分野は責任投資、非財務情報開示など。日本公認会計士協会環境会計専門部会長、中央環境審議会環境と金融に関する専門委員会委員などを歴任。現在、NPO法人社会的責任投資フォーラム共同代表理事を務める。主な著書に『責任ある投資』(岩波書店)、「社会を変える会計と投資』(岩波書店)、「環境と金融・投資の潮流」(編著、中央経済社)、「環境経営・会計」(共著、有斐閣)など。



今年も冒頭で「生命保険事業を通じて社会的課題の解決に 貢献する」との方針を掲げられました。このぶれない姿勢に敬意 を表します。実際、高齢者にとって認知症や骨粗しょう症などの リスクは切実ですから、太陽生命の「ひまわり認知症治療保険」 はありがたいと思いますし、中小企業の経営者も高齢化が進ん でいますので、要介護となった場合に備える大同生命の「介護リ リーフ」や「収入リリーフ」も重要だと思います。

また、普通の人にとって保険金を請求するという経験はめったにないことなので、戸惑うものです。その意味で、「伝わるデザイン」の認証を受けたわかりやすい手続き書類等や、「お支払い手続き訪問サービス」は、優れた取り組みと考えます。

ワーク・ライフ・バランスと女性活躍を両輪とした取組みが成果を上げつつあるのもよいことです。女性管理職比率が年々向上していることを評価したいと思います。

一方、生命保険会社の「本業」には、預かった保険料を運用する 機関投資家としての側面もあります。この面でも、「T&D日本株式 ESGリサーチファンド」の設定をはじめ、グリーンボンドへの投資など、さまざまな取組みをされていることは評価します。

しかし、ESG投資として機関投資家に期待される水準は、ここ数年で格段に上がっています。特に2015年には、9月に国連による持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、12月には気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)でパリ協定が合意されました。パリ協定では、地球の平均気温の上昇を2℃より十分に下回る水準に抑えることで合意し、今世紀後半には人為的な温室効果ガスの排出と吸収を均衡させるとの目標を示しました。これを受けて世界の機関投資家は投資やエンゲージメントを通じてこれらの目標に積極的にコミットし始めています。

御社も、たとえばポートフォリオ全体の「脱炭素化」を検討する、サプライチェーンの人権問題や水資源リスクなどの具体的なESG課題で対外的に発言するなど、機関投資家としての力を持続可能な社会の構築に役立てていくという強い意思を示して、存在感を高めてほしいと思います。

第三者意見を受けて

取締役副社長執行役員 臼井 壯之介

今年も貴重なご意見をいただきありがとうございます。今年度のレポートでは当社グループのCSRの基本である、本業を通じて社会に 貢献する取組みをわかりやすくお伝えするよう努めました。また、機関投資家としての取組みと国際的イニシアティブへの参加も簡潔に報告 しています。ご指摘いただいた、社会の機関投資家に対する期待と要請の高まりは、さまざまな機会に感じるようになりました。長期の運用 ポートフォリオを構築する当社グループにとって、この期待と要請にお応えすることは、中長期投資の中で継続的に取組む課題と考えます。 これまで同様今回も、いただいたご意見への対応を一歩一歩図ることで当社グループのCSRへの取組みを前進させるよう努めてまいります。

株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL: 03-3272-6110(代) http://www.td-holdings.co.jp/ mail:csr@td-holdings.co.jp

